

第二中学校・第四中学校の適正規模化に関する説明会の報告

平成21年 5月15日

第二中学校及び第四中学校適正規模化説明会が開催されました

第二中学校及び第四中学校の校区の保護者や地域の方々を対象にした「第二・四中学校適正規模化説明会」が、4月27日（月）に市総合福祉会館にて開催されました。

この説明会は、両校の適正規模地区委員会で統合が望ましいという方向性が出されたことを受け、その経過や今後のスケジュール等について、保護者や地域の方々へ報告し、理解をいただくとともに、今後の意向調査を行う前段として開催いたしました。当日の概要は以下のとおりです。

説明内容

第二中学校及び第四中学校の適正規模化について

- ・「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、適正規模化についての基本的な考え方及び適正規模の基準、適正規模化への方策やそれに伴う教育環境の整備、第二中学校・四中学校の適正規模化の考え方と具体的な進め方などの説明が行われました。

説明会開催の趣旨について

- ・今後、両校区の各世帯を対象に実施を予定している意向調査の基礎となる情報提供の場として、本説明会が開催されたとの説明がありました。

第二中学校及び第四中学校の現状について

- ・**第二中学校**・・・平成15年度から生徒数が200名を割り込んでいますが、学校や生徒はがんばっていること。一方で、今年度は1・3年が2クラスで、2年生は1クラスでクラス替えができない状況であり、生徒の希望する部活動の維持が困難であるとの説明がありました。
- ・**第四中学校**・・・今年度の生徒数は320名であり問題はないが、今後の推計では、300名を割り込み、適正規模が維持できず、問題が生じる危惧があることが報告されました。

第二中学校適正規模地区委員会での検討経緯について

- ・2回の委員会及び2回の小委員会を開催し協議した結果、学級数・部活動・教科担任制の状況、及び校区の各世帯を対象に実施したアンケート結果により、第四中学校との統合が望ましいという方向で意見がまとまったとの説明を行いました。

第四中学校適正規模地区委員会での検討経緯について

- ・2回の委員会を開催し協議した結果、今後の生徒数の推移やPTAの実施した保護者を対象にしたアンケート結果等により、第二中学校との統合が望ましいという方向で意見がまとまったとの説明を行いました。

今後のスケジュールについて

- ・両校の校区内の全世帯を対象に意向調査を実施する予定です。

質疑内容

アンケートの判断材料の提供について

- ・今後実施されるアンケートの判断材料として、両校が統合した場合と同規模の中学校の部活動や教科担任制などの状況、またメリットやデメリットなどの具体的情報を提供して欲しい。

統合に対する不安・反対意見について

- ・統合に対する反対意見や不安な面について、採り上げていただく場を設定して欲しい。また、保護者の不安に対して、説明や回答が必要である。

その他

中川小学校は、現在校区で区画整理が進んでいるとともに、街づくりにも取り組んでいること、また、若宮小学校は、市の「街づくりモデル地区」として指定されていることなどから、両校については、今後の地域の状況の推移を見据えることが必要であるため、当面の間、4～5年は現状のままとし、その後、再度、地域や保護者、学校と協議をすることとなります。

「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は教育委員会ホームページでご覧いただけます

(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kbn/15400073/15400073.html>)

問い合わせ先:前橋市教育委員会学校教育課教育企画係(適正規模地区委員会事務局)

電話:027-898-5865(直通) FAX:027-221-3418